

特集 基礎学力の育成

生徒の語彙力を伸ばすために



日 臺 滋 之 (東京学芸大学附属世田谷中学校)

はじめに

中学校学習指導要領外国語編¹⁾では、3年間に指導する語として「別表1に示す語を含めて、900語程度までの語(季節、月、曜日、時間、天気、数(序数を含む)、家族などの日常生活にかかわる基本的な語を含む)」としています。このような制限のあるなかで質の高い題材を提供することを考えると、教科書のように限られたページでは語彙を精選し、盛り込み方に工夫を凝らす必要があります。

1. 語彙の精選について

語彙を精選するにあたって、2006(平成18)年度 *NEW CROWN* (18NC) では、右記の表1にある wordlist といくつかのコーパスから語を抽出し、「必修語100(学習指導要領の「別表1」の語)」と、「2002(平成14)年度版の主要教科書に共通の基本語」とを参考に、18NCの基本語として500語を精選しました。

2. *NEW CROWN* の語彙構成

18NCは、「基本語」、「理解語」、「話題語」、そして選択的な扱いとしての「WORD BANK」の語彙から構成されています。

基本語は、表1の wordlist や複数のコーパスから

表1 7つのコーパスとその概要

- COB3²⁾: COBUILD3の5bandsの語彙(680語)。
 LDOCE3³⁾: s1(話し言葉における使用頻度上位1000語)。
 LDOCE3⁴⁾: w1(書き言葉における使用頻度上位1000語)。
 H10CS⁵⁾: 学習指導要領「別表1」の語、季節、月、曜日、時間、天気、数(序数含む)、家族。(186語)
 主要教科書コーパス: 主要教科書のどれかに出現する語彙(listening scriptも含む)。
 英検コーパス: 英検5級、4級、3級のコーパスのどれかに出現する語彙。
 中学生の学習者コーパス: スキット、日本文化紹介、スピーチからなる学習者コーパスのどれかに出現する語彙。

抽出した最も活用度の高い500語で、生徒が話したり、書いたりすることができることを目標とする語です。教科書の下欄の WORDS に太字で示してあります。学習指導要領の「別表1」の100語にはさらに単語の右肩に*を付してあります。

理解語は、基本語500の次に重要な語で、教科書の題材との関連で必要な語で、生徒が読んだり聞いたりして理解できることを目標とする語です。教科書の下欄の WORDS に並字で示してあります。

WORDSの語彙表示の工夫(BOOK 3, LESSON 2, Section 1)



interview	glad	few	since*	been	several	Kileo キレオ(人の名字)
[intəvju:]	[glæd]	[fju:]	[sɪns]	[bi:n]	[sevrəl]	[kileoʊ]

glad, been は基本語。since は基本語で「別表1」の語。interview, few, several は理解語。Kileo は話題語。

話題語は、特定の題材との関連のなかで理解することを目標とする語です。例えば、人名・地名などの固有名詞が含まれます。教科書の下欄の WORDS にグレーの網掛けで示し、その意味を付してあります。

なお、「基本語」と「理解語」、および「話題語」の一部の語が学習指導要領でカウントされる 900 語となっています。

WORD BANK では、選択的な扱いとして、活動を行う際に参考となる語句や表現をまとめたコラムで、「中学生の学習者コーパス」から使用頻度の高い表現を盛り込んであります。

3. 語彙力を伸ばすために

① WORDS の表示を指導や学習の道しるべに

語彙の区分が明示されることにより、どの語はどの段階まで指導すればよいのか目安になりますし、生徒にとってはどの語から優先的に覚えていったらよいのかという道しるべになります。

例えば、実際の授業では、以下のように教科書の本文から基本語の部分を空白にしたハンドアウトを用意します。

本文の音読練習後、2人1組になり、一方は教科書を持ち、他方はハンドアウトを見ながら空欄に語を補いながら読みます。空欄の語を補って読めない場合は教科書を持っている生徒が助けてあげます。

また、このハンドアウトは前時の復習として空欄に語を補って書くタスクにも使えます。

BOOK 2, LESSON 1, Section 1

—基本語を空欄にしたハンドアウトの例

Hello, everyone.
 Let me tell you about my () in Australia. In Australia, I lived in Sydney. I () ()! I played netball every Saturday. It is popular () my friends.
 It is spring in Japan. It is autumn in Australia. The season is (). ()? Does () know?

このハンドアウトから話題語（網掛けの語）も空欄にすれば、さらに難易度があがります。このようにして語彙の定着に役立てることができます。

② 表現活動に役立つ WORD BANK の語彙

各学年の DO IT の TRY の項目は選択的な活動であり、生徒が自分の視点に引き寄せて表現できる内容であり、インタラクティブな活動です。TRY には、WORD BANK が用意されており、生徒の表現活動をサポートします。具体例を見てみましょう。

下の TRY の対話では、B: How do you go there? の質問に対して、WORD BANK から生徒が各自の実際の経験にもとづいて、「行き方」について語句を選択し、以下の下線部のように答えることができます。

I go there by train [bus, car, bike, ship].

I go there on foot.

BOOK 2, DO IT—TALK 2 の TRY



WORD BANK は DO IT だけではなく、USE IT や WORD CORNER にも埋め込まれています。

③ WORD CORNER で関連のある語をまとめて整理

WORD CORNER では、ばらばらに学習するよりも、まとめて学習したほうが身につけやすい語をまとめて提示し、活動しながら身につけるように工夫してあります。各学年で扱ったトピックは次のとおりです。

- 1年：数字，家族，曜日，月，序数，四季
 2年：体の部分，天気，色，つなぐことば，場所の表し方
 3年：感情や体調を表す表現，いろいろな数の表し方，単語の仲間

WORD CORNERのタスクの構成としては、「聞く」→「話す」→「使ってみる」という流れになっています。この指導の手順を踏みながら語彙の定着を図っていきます。

まず，生徒に絵の状況を説明します。最初の絵であれば，「女の子がバス停のところに立っている状況を表すには，A girl is standing at the bus stop. と言い，場所の表し方として at the bus stop を使うよ」という程度の説明にします。

1番のタスクでは，音声聞いて，場所の表し方を書いてみます。文字を見ないで，絵だけ見て，場所の表し方がスラスラ言えるようになるまで繰り返し練習したいものです。

2番のタスクでは，絵を見ながら，場所の表し方の表現を実際に使って書く活動を行います。

BOOK 2



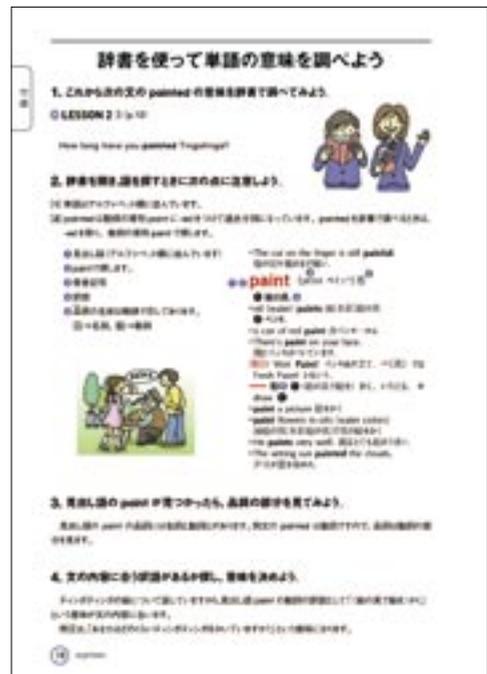
④「単語の意味を調べよう」を活用して自立した学習へ
 生徒が自分で辞書を引き，あいまいな知識を確かめていく過程は語彙の習得に役立つばかりでなく，

自立した学習者を育てていくうえでとても大切に思います。

2年生の「単語の意味を調べよう」では，LESSON 2, Section1の新出単語の意味を，巻末の「単語の意味」を使って調べる例が載せてあります。LESSON 2, Section1を学習する時点で活用すると効果的です。

3年生の「辞書を使って単語の意味を調べよう」では，実際に辞書を使って調べる例が載せてあります。こうした指導を踏まえて，ノートや単語カードに単語の整理をしていく習慣を，生徒に身につけさせていきたいものです。

BOOK 3



さいごに

18NCは語彙を精選し，学習者に基礎・基本が定着しやすいように語彙を盛り込む工夫をしています。うまく使いこなして生徒の学習に役立てたいものです。

【参考文献】

- 1), 5) 文部科学省『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説—外国語編—』東京書籍，1999，pp.37-38，pp.89-90
- 2) Collins Cobuild English Dictionary for Advanced Learners. 2001. Harper Collins.
- 3), 4) Longman Dictionary of Contemporary English (LDOCE) Third Edition. 1995. Longman.